



TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

東京フィルハーモニー交響楽団

「このオペラは権力への憧れという麻薬が
 どれほど人間に深く根付いているかを教えてくれる。

権力への欲に目が眩んだ人物は
 常に人類に大きな危険をもたらしてきた。」

——チョン・ミョンフン

2022年『ファルスタッフ』、2023年『オテロ』、そして2024年『マクベス』。

シェイクスピア&ヴェルディの
 傑作オペラ全3作、堂々の完結。

ヴェルディ／歌劇『マクベス』

2024シーズン9月定期演奏会〈オペラ演奏会形式〉

「音楽」と「劇」の一致を目指したヴェルディの原点、歌劇『マクベス』。
 人間ドラマの最高峰を、名誉音楽監督チョン・ミョンフンと東京フィルが音楽で描く！



マクベス
セバスティアン・カターナ



マクベス夫人
ヴィットリア・イエオ



バンクォー(※)
アルベルト・ペーゼンドルファー



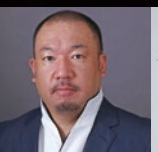
マクダフ
ステファノ・セッコ



マルコム
小原啓楼



侍女
但馬由香



医者
伊藤貴之



マクベスの従者
刺客 伝令
市川宥一郎

合唱
新国立劇場
合唱団
合唱指揮
富平恭平

※当初の予定から変更となりました。

舞台は11世紀スコットランド。将軍マクベスと盟友バンクォーは森で魔女から予言を受ける。「マクベスは王に、バンクォーは王の父になるだろう」。これを知ったマクベス夫人は野心を燃やし、マクベスをけしかけてダンカン王を殺害。王の遺児マルコムはイングランドに逃亡する。マクベスは王として即位し、予言をもとにバンクォー父子や領主マクダフ一家に刺客を向ける。宴の場でマクベスは殺した人々の亡霊を見て錯乱し、マクベス夫人は血塗られた手の妄想にとりつかれ、狂気の中で息絶える。「女から生まれた者にマクベスは倒せない。森が動かないかぎりマクベスは倒されない」との予言に慢心するマクベスだが、マクダフと民衆により倒され、人々は新王マルコムの誕生を祝う。

名誉音楽監督チョン・ミョンフン指揮 ヴェルディの革命的オペラ『マクベス』への期待

文=香原斗志

いよいよ『マクベス』が登場する。一昨年(2022年)から『ファルスタッフ』(1893年初演)、『オテロ』(1887年初演)と、ヴェルディが文豪シェイクスピアの戯曲をもとに作曲したオペラを、高いレベルで上演してきたチョン・ミョンフンと東京フィル。前の2作が円熟の筆で書かれた晩年の作品だったのに対し、『マクベス』(1847年初演)はヴェルディが33歳で手がけた、いわば若書きの作品だ。しかし、半世紀にわたったこの巨匠の作曲活動のなかで、画期になった傑作だと断言できる。ヴェルディは周知のとおり、環境や状況に翻弄される人間の異常と思える一だが、それが人間の本质と思える一心理を、音楽によって掘り下げた。作曲家が生涯追い求めたこのテーマは、じつは、すべて『マクベス』のなかに開花している。むしろ、マエストロ チョンは、それを存分に引き出せるという自信があって、このオペラを選んだに違いない。

シェイクスピア×ヴェルディのタッグで実現した 手に汗握る名作〜『マクベス』への期待

文=加藤浩子

「人間とは何か」。ヴェルディはそう問いかけ続けた作曲家である。その彼が「人の心を知る偉大な師」だと敬愛した創作者こそシェイクスピアだった。シェイクスピアの原作によるヴェルディの3つのオペラは、音楽とドラマの一体化という点で彼の他の作品と一線を画する。全ての音符が人物の心理に密着し、人間の「業」をあぶり出すのだ。『マクベス』は、権力という毒に囚われた人間の破滅の物語である。王座への野望に駆り立てられ、主君殺しの大罪を犯したマクベスは、その直後から権力を失う恐怖に取りつかれる。だが犯した罪に怯えるのは人間なら当然のことではあるまいか。『マクベス』は神話のように普遍的で、現代にも通じるモダンな作品なのだ。ヴェルディは『マクベス』を、かつてなく野心的でスリリングな音楽で満たした。それは冒険だった。今回の『マクベス』は、チョン・ミョンフン&東京フィルによるシェイクスピア×ヴェルディの完結編である。究極の冒険を、どうぞお聴き逃しのないように。

9月
定期演奏会

9月15日[日]15:00開演 Bunkamura オーチャードホール
 予定枚数終了 9月17日[火]19:00開演 サントリーホール
 9月19日[木]19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

指揮:チョン・ミョンフン(東京フィル名誉音楽監督)

ヴェルディ／歌劇『マクベス』

〈オペラ演奏会形式〉 全4幕・日本語字幕付き原語(イタリア語)上演
 原作:ウィリアム・シェイクスピア『マクベス』
 台本:フランチェスコ・ピアヴェ 公演時間:約2時間45分(休憩含む)

公演の詳細や
 特別記事は
 こちらを
 ご覧ください。



チケットの
 お申込み

チケット料金(税込)	SS席	S席	A席	B席	C席
定価	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000	完売
東京フィルフレンズ 10% OFF	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	完売

※東京フィルフレンズ会員(入会金・年会費・随時申込受付中)のお客様はお電話でのご注文で各席10%オフでご購入いただけます。(SS席を除く)

東京フィルチケットサービス

03-5353-9522

平日10時~18時(土日祝休)

※チケット発売日の土日祝のみ10時~16時で営業

東京フィルWEBチケットサービス

<https://www.tpo.or.jp/>

クレジットカード決済

座席選択可・24時間受付・WEBからの購入は定価

名誉音楽監督チョン・ミョンフンが語る 『マクベス』と東京フィルの〈オペラ演奏会形式〉

「ヴェルディはシェイクスピアの大ファンでした。当時イタリア語の翻訳でシェイクスピアを読むこと自体極めて異例なことでしたが、それでもヴェルディは彼に魅了され、音楽人生の大きな部分を捧げました。『マクベス』は初期の作品ですが、ヴェルディ自身は初期の自分の作品の中で最高傑作と感じていたと思います。

ヴェルディの私生活において彼の義理の父(最初の妻の父)は、娘であるヴェルディの妻が亡くなった後も、ヴェルディの生涯を通じて強力な支援者でした。ヴェルディは義父に『マクベス』を献呈しました。その時の手紙には、『今まで少なくとも10作ほどのオペラを書きましたが、あなたに捧げるに値する作品を書いたとは思わなかった』と書いています。それほど彼はこのオペラを大切に思っていたのです。

東京フィルのお客様にとって東京フィルがオペラを継続的に取り上げていることは、幸運なことだと思います。シンフォニーオーケストラがオペラを取り上げる機会はそう多くはありません。なぜなら多くの歌手や合唱を招くことの財政面での困難さや、多くのオーケストラがオペラ演奏に慣れていないことなど様々な理由で難しいことだからです。しかし東京フィルは非常に様々なジャンルの音楽に優れたオーケストラです。東京フィルのお客様は定期的に完全に音楽的なクオリティに集中してオペラが演奏されるのを聴くことができます。皆様がコンサートで100%ヴェルディの音楽を楽しむことができ、時には目を閉じて音楽が物語のすべてを語るのを聴くことができるのは、コンサート形式オペラの醍醐味です。」



マエストロの
メッセージ動画全編は
公式YouTubeにて公開中!



2022年10月定期
チョン・ミョンフン指揮
『ファルスタッフ』で
タイトルロールを演じました

セバスティアン・
カターナ
(マクベス)

「マクベスは私が約15年間様々なプロダクションで折々歌ってきた役です。マクベス役を歌う難しさは多岐にわたりますが、その最たるものはオペラ全体を通して彼が経験する幅広い感情を伝えることです。オペラの冒頭第1幕でマクベスとマクベス夫人がささやくような歌い方で素晴らしいデュエットをする場面。第2幕の終わりでの音と怒りが大爆発する宴の場面。また、第3幕の有名な亡霊の場面など、エキサイティングな瞬間と素晴らしい音楽に満ちたオペラです。」

「ヴェルディはマクベス夫人に様々な歌唱技術や音楽言語を使ってただ歌うだけではなく、“演じる”ことを求めました。これは非常に難しい役なのです。技術的なあらゆる面で準備をし、すべての音楽と詩をドラマティックに表現することが不可欠です。休符さえも演じなければなりません。私自身最も愛する役柄です。」



ヴィットリア・
イエオ
(マクベス夫人)

2016年7月定期チョン・ミョンフン指揮
ブッチーニ／歌劇『蝶々夫人』でタイトルロールを演じました

東京フィルの『マクベス』をもっと深掘り!!

日本ヴェルディ協会×東京フィルハーモニー交響楽団 in ぶらあぼONLINE

「ヴェルディ『マクベス』を知る」全2回

第1回〈シェイクスピア×ヴェルディ 二人の天才〉

7月11日[木]
19:00 終了

[出演] お話:小畑恒夫(音楽評論家・昭和音楽大学客員教授)
VTR特別対談 松岡和子(翻訳家・演劇評論家)×小畑恒夫
ナビゲーター:河野典子
(音楽評論家・日本ヴェルディ協会事務局長)

アーカイブ配信

東京フィル
YouTubeチャンネル

YouTube



第2回〈オペラ『マクベス』の魅力に迫る〉

8月6日[火]
19:00 終了

[出演] お話:伊藤貴之(バス歌手・医者役)
須田祥子(東京フィル ヴィオラ首席奏者:オンライン出演)
荒川文吉(東京フィル オーボエ首席奏者)
ナビゲーター:河野典子

シェイクスピアとヴェルディそれぞれの
専門家が熱く語りました!
YouTubeに全編公開中!

